

道路関連施設のアスベスト飛散・暴露防止対策 国交省



国土交通省では道路関連施設におけるアスベストの使用の実態について調査を進めていく中で、一部道路関連施設においてアスベストの使用が確認され、今後の対応について更に詳細に検討する必要があると判断したことから、専門家による「道路施設アスベスト対策検討委員会」の設置を行いました。今回、この委員会においてとりまとめられた「道路関連施設の維持・管理におけるアスベスト飛散防止対策・ばく露防止対策」が報告書として公表されました。

報告書には使用されているアスベストを「レベル 1(作業時の発じん量が著しく多く、廃棄時も飛散性)」から「レベル 3(作業時の発じんが比較的低く、廃棄時も非飛散性)」に分類し調査結果をまとめています。所管の6,237施設(直轄国道や高速道路(株))の内、「レベル1」にあたる施設が159施設あり、そのうち86施設は飛散防止措置実施済みで、残りの73施設については今後実施していく予定となっています。なお、アスベストの使用が考えられることから詳細な調査を実施中である施設が15施設あると報告しています。地方公共団体分については今後公表されるそうです。

当社では、大気・建材・吹付け材のアスベスト分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料: 2006年1月13日 EICネット
環境省ホームページ

環境分析箇所 小林正幸

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
U R L : www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 アスベスト・PCB等の化学分析 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 EU規制物質の化学分析 |

